

がん専門医の育成について
地域がん診療拠点病院における育成について
 独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター

1. レジデント 26 名

2. 募集 公募ではない
 各大学の関連医局からの派遣

3. 教育プログラム：研修期間 2～3 年
 - ① コアカリキュラム
 がん研究助成金 11-3「がん専門診療施設における診療教育体制の確立と評価に関する研究」（江口班）が作成し全国がん（成人病）センター協議会に提言された共通コアカリキュラムに順守（資料①）。
 - ② 施設独自の教育カリキュラムはない。
 - ・ 初年度から腫瘍内科医、腫瘍外科医研修といった一般研修から始めるのではなくより専門性が高い消化器内科医・消化器外科医・呼吸器内科医・婦人科腫瘍医などの各専門腫瘍医の研修が始まる。
 - ・ 知識・技術・コミュニケーションスキルの修得は、入院患者に対する指導医および診療各療科グループの先輩医師とのチーム医療による継続的診療を介して行われている。
 - ③ 多地点テレビ会議システム（国立がんセンター中央・東病院を含む全国のがん専門病院 18 施設が参加）による知識の修得
 - ・ レジデント講義（国立がんセンター発信）（資料②）
 - ・ Medical Oncology Conference：毎週火曜 7:50～8:30（資料③）
 - ・ Medical Conference：毎週木曜 16:30～18:00（資料④）
 - ・ 精神科カンファレンス：毎週木曜日 19:00～
 - ・ 消化管画像カンファレンス：毎月第 4 火曜日 18:00～19:30
 - ・ 病理カンファレンス：3 ヶ月に 1 回
 - ・ 整形外科カンファレンス：3 ヶ月に 1 回
 - ・ 乳腺カンファレンス：2 ヶ月に 1 回第 4 火曜日 19:30～

- ④ 施設間交流研修
国立がんセンター中央病院で約1ヶ月間の短期研修（実績17名）
- ⑤ 各診療科におけるカンファランスによる知識の修得
- ⑥ がん研究助成金、厚生労働科学研究費等による班会議（四国がんセンターの医師が班長、班員班友となっている）に参加し知識を習得
- ⑦ 四国がんセンターが参加施設となっている Japan Clinical Oncology Group、West Japan Thoracic Oncology Group、などの臨床試験グループの班会議およびセミナーに参加し知識を習得
- ⑧ 愛媛県、松山市などで定期的に行われているがんに関する研究会での知識の修得

4. 指導医体制

- | | |
|--------------------|-----|
| ① 日本臨床腫瘍学会暫定指導医 | 11名 |
| ② 日本内科学会認定指導医 | 11名 |
| ③ 日本外科学会指導医 | 8名 |
| ④ 日本消化器外科学会指導医 | 2名 |
| ⑤ 日本泌尿器学会専門医制度指導医 | 1名 |
| ⑥ 日本臨床細胞学会認定細胞診指導医 | 2名 |
| ⑦ 麻酔指導医 | 1名 |
| ⑧ 日本消化器内視鏡学会指導医 | 1名 |

5. 評価体制

整備されていない。

教育研修を終了したと認められた者には全がん協会長（国立がんセンター総長）の修了証書を交付（実績49名）

6. 平成15年度実績

- | | |
|-------------------|-----|
| ① 学会報告数（研修者が筆頭演者） | 43件 |
| ② 論文数（研修者が筆頭著者） | 13編 |